

# 地 域 再 生 計 画

## 1 . 地域再生計画の名称

末吉町「大淀川源流」再生計画

## 2 . 地域再生計画の作成主体の名称

鹿児島県曾於郡末吉町

## 3 . 地域再生計画の区域

鹿児島県曾於郡末吉町の全域

## 4 . 地域再生計画の目標

末吉町は、鹿児島県の北東端に位置し、人口20,291人（平成17年4月1日現在）、面積129平方キロメートルで、町の中央部を1級河川大淀川が流れている。地形はシラス台地が多く、畜産及び畑作の盛んな地域であり畜産農業系及び生活系の汚水負荷が大きい傾向にある。又、平成17年7月1日に隣接する財部町・大隅町と合併し曾於市となる。大淀川は末吉町を源とし、隣接する都城市を流下し太平洋に注ぐ、幹川流路107km、流域面積2,230km<sup>2</sup>の九州を代表する一級河川であり、宮崎市30万人の上水道の水源として利用されているが、流域の都市化や産業の発展した昭和40～50年以降、河川水質は良好といえない状態が続いている。末吉町ではゲンジボタルやヘイケホタルの群舞が町内全域で見られたが、今では一部溪流に限られてきている。また、ハヤ、メダカ、タニシ、カワニナ等が激減し、カワセミ、白鷺などの鳥類も見かけなくなり自然環境の悪化が危惧されている。

平成3年には大淀川のBOD水質ランキングが九州管内一級河川のワースト1位になり、このような状況から、流域市町村では、委員会や協議会の活動（「大淀川水系水質汚濁防止対策協議会」、「大淀川サミット」等）による地域住民への啓発運動、公共下水道や集落排水施設の整備を進めている。その結果、河川のBOD濃度は徐々に低減しつつあるが、河川の窒素及びリン濃度は九州管内一級河川の平均を大きく上回り、現在も低減する傾向にはない。末吉町でも近年、都城市のベッドタウン化等により町の中央部に人口が集中したことや、生活様式の変化に伴い未処理の生活雑排水が流入し、水質が悪化してきている。

このため「大淀川水系水質汚濁防止対策連絡協議会」「大淀川清流ルネッサンス 協議会」では大淀川水系大淀川上流域の都城盆地（宮崎県：高城町・高崎町・高原町・山田町・山之口町・三股町・都城市・鹿児島県：財部町・末吉町）を対象に、水質及び水量の改善を図るため大淀川水環境改善緊急行動計画（大淀川ルネッサンス）を策定中であり、関係自治体では以下のような事業推進を図る。

### 河川改修事業

今までの河川整備を見直し、多自然型川づくり、水辺植生の復元、瀬や淵の復元を図る施策を考慮しながら改修工事を進める。

### 汚染処理施設整備

流域全体としては、平成22年における汚水処理人口普及率は26%になるが、この数値は平成13年度末の全国平均63.5%より低い数値である。当流域は人口密度の低い地域が大半を占めるため、このような地域では合併浄化槽等、下水道以外の処理方式で普及を併せて実施する。

### 農業・畜産系負荷削減

大淀川上流域は畑作・稲作・畜産の盛んな地域であり、発生する家畜排せつ物は堆肥として流域の農地に施肥されている。野積・素堀り等の不適正処理については平成16年制定の家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律により減少される見込みであるが耕作地の施肥量が増えることも考えられることから施肥基準に基づく適正な施肥対策を周知させ改善を図る。

本町では、近年、交通の利便性、商工業施設や環境施設の整った町中央部への人口集中化がすすみ、現在町人口の38%である7,600人が定住している。町中央部では人口の増加により、生活污水による水質の悪化が進み、農村部では生活污水に加え農畜産の糞尿による水質汚濁や臭気等により定住化促進の阻害要因になっている。このようなことから住環境や自然環境の改善を図るため平成3年から合併浄化槽設置事業を展開し、また平成9年からは町の中央部で公共下水道の整備に着手し平成16年3月に供用開始をした。平成16年度末の汚水処理人口は普及率20%に達したものの依然低迷している状況にある。また、農村区域では家畜排せつ物の不適正処理により、水質汚濁や臭い等による環境悪化が進み、農村部定住化促進の阻害要因になっている。町では平成12年から畜産環境施設改善事業を導入し、家畜糞尿適正処理施設の整備を行っているが、いまだ畜産農家全体の30%にとどまっている。

このことから、汚水処理施設整備と畜産環境施設の整備をいっそう促進するほか、千年の森整備事業で照葉樹林の再生を図ることで、大淀川源流の清流を取り戻し、ホタルなど水性動植物の繁殖を促す。また、河川工事においても親水性護岸や多自然型川作りを積極的に導入することにより、ふるさとの風物を取り戻したり、川でのイベント（カヌー大会・ドラゴンボート大会）をより活性化させることができる。住環境や自然環境の改善をすることで農村部への定住化を積極的に推進するなど、本町の中央部と農村部の均衡ある定住化、活性化を図り町全域の再生を目指す。そのことが「大淀川ルネッサンス」計画にも大きく貢献し、大淀川全域の清流化にも寄与するものである。

（目標1）汚水処理施設の整備の促進（汚水処理人口普及率を20.6%から35.1%に向上）

（目標2）新割田橋における平成21年度における目標を「大淀川ルネッサンス」水質評価地点志比田橋と同じ数値でBOD < 2.0mg / ℓ・N < 3.6 mg / ℓ・P < 0.25 mg / ℓを設定する。

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

大淀川流域の汚水対策として、住宅が密集する町中央部を公共下水道で管渠整備し、また町全域を対象として合併浄化槽の整備を推進する。併せて、廃食用油

回収事業や畜産施設環境整備事業を行い、汚染源の減少により水質改善を図る。

また「千年の森整備事業」で照葉樹林の再生を行い、水源かん養を推進し清流の再生を図る。

これら事業によって、大淀川源流の清流を取り戻し、住環境や自然環境を改善することで、本町の中央部と農村部の均衡ある発展、活性化を図り、町全域の再生を目指す。

## 5 - 2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

### [事業主体]

- ・未吉町

### [施設の種類]

- ・公共下水道（下水道法4条1及び2項：平成9年10月15日49ha事業認可・平成15年7月22日147ha変更認可）
- ・浄化槽

### [事業区域]

- ・公共下水道 未吉町未吉処理区
- ・浄化槽 未吉町全域（未吉処理区を除く）

### [事業期間]

- ・公共下水道 平成17年～21年度
- ・浄化槽（個人設置型）平成17年～21年度

### [事業費]

- ・公共下水道 854,800千円  
（うち単独104,800千円）  
（うち国費375,000千円）
- ・浄化槽 236,625千円  
（うち国費78,875千円）
- ・合計 1,091,425千円  
（うち単独104,800千円）  
（うち国費453,875千円）

### [整備量]

- ・公共下水道 150～200 L=11,478m
- ・浄化槽 650基（5人槽545基、7人槽100基、10人槽5基）

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり  
公共下水道末吉処理区で 1,326 人、浄化槽町全域 1,633 人

### 5 - 3 その他の事業

- ・末吉町廃食用油回収事業（全戸）  
町独自による全戸回収容器配布 月 1 回回収作業（平成 15 年度より）
- ・畜産施設環境整備事業  
大規模な飼育牛・養豚業者の施設整備は国・県の補助事業を導入し、小規模の畜産農家では町独自の補助事業で施設の環境対策改善整備をすすめる。
- ・千年の森整備事業（照葉樹林再生）  
町独自による 29 ha の照葉樹林再生事業
- ・農村部への新たな定住者への支援措置  
I ターンやU ターン者で新たに住宅を取得した者への補助制度

### 6 計画期間

認定を受けた日から 22 年 3 月末まで

### 7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4 に示す数値目標に照らし状況を調査・評価し公表する。また、必要に応じて事業の内容の見直しを図るために、施設の整備状況について評価・検討を行う。

なお、整備された汚水処理施設については、水質検査・維持管理が適切に行われているか把握し、必要に応じて適切な措置をとるよう指導する。

### 8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし

### （添付資料）

地域再生計画区域図

末吉町汚水処理整備箇所図

地域再生計画のイメージ図

地域再生計画の工程表及びその内容を説明した文書